

機械器具（17）血液検査用器具
一般医療機器 一般的名称：浸透圧分析装置
特定保守管理医療機器 オズモメータ 050

【警告】

病原性微生物に汚染されている可能性のある検体を測定する場合は、保護用眼鏡、保護用手袋を着用し丁寧に操作してください。取り扱いを間違えると、使用者及び周囲の人が感染する恐れがあります。

又、使用済の検体及び検体と接触した消耗品類は、一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。

【禁忌・禁止】

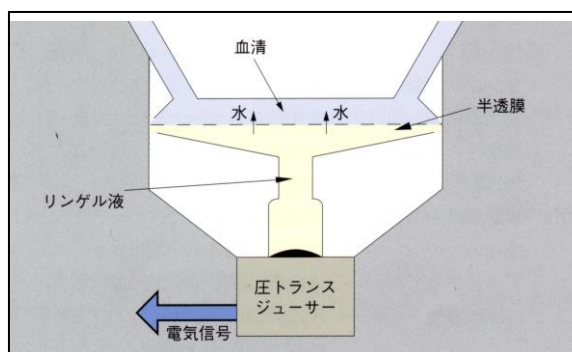
- 1) 病原性微生物に汚染されている可能性のある検体を測定する場合は、熟練した専門の医療従事者以外は操作しないでください。
- 2) 本装置の点検、校正及び修理は熟練した者以外は行わないでください。
- 3) 装置から異臭がしたり煙が出ている時はすぐに電源コードを抜き、販売代理店または朝日ライフサイエンス(株)までご連絡ください。
- 4) 温度変化の少ない部屋でご使用ください。室温や検体・サンプルの急激な温度変化は測定値に影響を与えます。

【形状・構造及び原理など】



【作動・動作原理】

血中の蛋白成分の分子量は、60,000 以上の大きさです。分子量 10,000～20,000 以上の高分子成分の透過をカットする半透膜メンブランを介して、一方にリンゲル溶液、他方に血清などを置くとリンゲル溶液中の水分は血静側に引きつけられていきます。この結果リンゲル側は、血清側に対して陰圧となり、ある平衡点でこの水の移動は停止します。この時リンゲル液側に発生する陰圧が、血清中の蛋白など高分子に由来するコロイド浸透圧として、圧トランスジューサーに感知されます。較正は、メンブラン両側にリンゲル溶液を置いた時に、圧トランスジューサーが感知する僅かな静水圧（排液ボトルの液面と、メンブラン位置の間に発生する）で、自動 Zero 合せが行われます。排液ボトルを机上に移動すると、正確に 10.0cm の静水陰圧がメンブラン下部の圧トランスジューサーにさらに加わります。この時発生する電気信号を利用して、電気的に 10.0cmH₂O 調整を実施することができます。このようにして、あらかじめ較正させた装置に、専用シリンジにて血清、血漿サンプルを注入します。サンプルの性質および使用メンブランの性質に応じて、60 秒～4 分 30 秒の間にコロイド浸透圧が表示されます。



【効能又は効果】

本装置は溶液のコロイド浸透圧を測定します。

【品目仕様など】

セル容量・・・＜10 μ l
最大サンプル量・・・3×50 μ l
サンプル導入・・・専用シリンジ使用
メンブラン・・・標準 20,000 g/mol カットオフ
オプション 10,000 g/mol カットオフ
ゼロ調整・・・自動ゼロセッティング
スパン調整・・・静水圧調整又は既知浸透圧サンプルによる
測定範囲・・・0～99.9mmHg
再現性・・・±0.5 mmHg
測定時間・・・1～3 分（メンブラン・サンプルの性質に応じて max.4 分 30 秒追跡）
単位選択・・・mmHg、mH₂O、K-PASCAL 選択
寸法・・・W35×D35×H25cm
重量・・・5.1kg（ボトルなし）
電源・仕様・・・100V50/60Hz 60VA(050 本体)

050RS 型 SYSTEM 仕様

※仕様は 050 型と同じで、測定データーを RS-232C 経由で出力します。

【操作方法又は使用方法など】

1. メンブランフィルターを脱気リンゲル液にてコンディショニングする。
2. 排液ボトル及びリンゲル洗浄ボトルをセットする。
3. 電源を入れる。
4. 脱気リンゲル液を測定セル下部にセットする。

取扱説明書を必ずご参照ください。

5. メンブランフィルターをセット
6. 測定上部セルを乗せ、ゆっくりとセル固定ネジをしめる。
7. RESET ボタンを押し、STAND BY LED 点灯を待つ。
8. CALIBRATION ボタンを押し、ゼロ合せを行う。
9. 排液ボトルを本体横に置き、10.0cm H₂O 調整をする。
10. 単位を選択し、START ボタンを押し、STAND BY LED 及び INJECT LED の点灯を待つ。
11. サンプルを入れる。
12. 第1結果を記録する。
13. 第2結果を必要とする場合は、2-RESULT LED 点灯を待つ。必要のない場合は RESET ボタンを押す。
14. (10) ~ (13) をくりかえす。
15. 連続測定の場合は (10) においてさらに SERIES ボタンを押す。

【使用上の注意】

- 1、浸透圧測定以外には使用しないでください。
- 2、分解や修理・改造を行わないでください。発火したり故障や事故を起こすおそれがあります。
- 3、本体に水をかけたり、濡れた布で拭いたりしないでください。故障や事故の原因になります。
- 4、電磁波を発生する装置や電氣的ノイズを発生する装置の近くに設置しないで下さい。誤作動の原因になります。
- 5、長時間、使用しない時は電源を切ってください。

【貯蔵・保管方法及び使用期間など】

標準的な使用期間は5年になります。(主要部品の圧力トランスジューサーの耐用年数が5年であるため)。
但し、取扱説明書及び添付文書の注意事項を厳守し定期的な消耗品交換を含む保守点検及び機器校正を実施した場合です。

【取り扱い上の注意】

- 1、直射日光の当たる場所では使用しないでください。
- 2、埃や揮発性ガスの雰囲気中では使用しないでください。
- 3、傾斜、振動、衝撃のある場所では使用しないでください。

【保守・点検に係る事項】

- 1、日毎の保守
 - (1) リンゲル洗浄液の補充をしてください。
 - (2) 排液ボトル内液の廃棄とボトル内部の清掃、殺菌を行ってください。
 - (3) 装置周辺の汚れを清掃してください。
- 2、1ヶ月ごとの保守
 - (1) メンブランフィルターを交換してください。
 - (2) 測定セル下部リング液を交換、補充してください。
- 3、必要に応じて交換してください。(不定期)
 - (1) ペリスタポンプチューブの交換
 - (2) ペリスタポンプニップルの交換
 - (3) 洗浄液、排液用チューブの交換
 - (4) 電源ヒューズの交換
- 4、クリーニングの場合、シンナーやベンジン等の溶剤を使用しないでください。
- 5、定期的に専門技術者の保守点検を受けてください。

【包装】

- 1 台単位で梱包します。(専用のクッション材で保護)

【製造業者又は製造販売業者の氏名又は名称及び住所等】

製造業者 : GONOTEC 社 (ドイツ国)
製造販売業者 : 朝日ライフサイエンス株式会社
お問合せ先 : 埼玉県所沢市新郷2-1-2 番地
: 技術部
電話番号 : 04-2951-7177

取扱説明書を必ずご参照ください。